

日本BS放送株式会社

2025年8月期 第3四半期

(決算補足説明資料)

2025年7月10日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P17
IV	(ご参考)会社概要	P21

I 決算概況



2025年8月期 第3四半期（連結）

売上高 **8,747百万円**（前年同期比 3.5%減 ↓）

営業利益 **1,544百万円**（前年同期比 0.8%減 ↓）

2025年8月期 第3四半期（個別）

売上高 **8,227百万円**（前年同期比 3.0%減 ↓）

営業利益 **1,616百万円**（前年同期比 3.5%増 ↑）

売上高は8,747百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は1,544百万円（前年同期比0.8%減）、
親会社株主に帰属する四半期純利益は1,062百万円（前年同期比1.3%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第3四半期累計	2025年8月期第3四半期累計			
		実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因
売上高	9,067 (100.0%)	8,747 (100.0%)	△3.5%	△320	(売上高) ・放送事業収入 …△245百万円 ・その他収入 …△8百万円 ・その他収入(子会社) …△65百万円
売上総利益	4,313 (47.6%)	4,248 (48.6%)	△1.5%	△65	(売上原価) ・番組制作費 …△167百万円 ・減価償却費 …△100百万円
営業利益	1,556 (17.2%)	1,544 (17.7%)	△0.8%	△11	(販管費) ・広告宣伝費 …△52百万円
経常利益	1,561 (17.2%)	1,567 (17.9%)	0.4%	6	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,076 (11.9%)	1,062 (12.1%)	△1.3%	△13	

貸借対照表の概要（連結）

(単位: 百万円、下段は構成比)

		2024年8月期末	2025年8月期第3四半期末	
			第3四半期	前年増減額
	流動資産	17,041 (65.8%)	16,684 (64.1%)	△356
	固定資産	8,852 (34.2%)	9,359 (35.9%)	506
資産合計		25,894 (100.0%)	26,044 (100.0%)	149
	流動負債	2,166 (8.4%)	1,771 (6.8%)	△395
	固定負債	128 (0.5%)	129 (0.5%)	0
負債合計		2,295 (8.9%)	1,900 (7.3%)	△394
純資産合計		23,598 (91.1%)	24,143 (92.7%)	544
負債・純資産合計		25,894 (100.0%)	26,044 (100.0%)	149

売上高は8,227百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は1,616百万円（前年同期比3.5%増）、
四半期純利益は1,135百万円（前年同期比4.8%増）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第3四半期累計	2025年8月期第3四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な増減要因
売上高	8,481 (100.0%)	8,227 (100.0%)	△3.0%	△254	・タイム収入の減少・・・△28百万円 ・スポット収入の減少・・・△216百万円
売上総利益	4,037 (47.6%)	4,042 (49.1%)	0.1%	5	(段階利益) 売上原価・販管費の減少
営業利益	1,561 (18.4%)	1,616 (19.6%)	3.5%	55	《利益増加の具体的要因》
経常利益	1,568 (18.5%)	1,641 (19.9%)	4.6%	72	【売上原価】 ・前年放送のレギュラー番組等にかかる費用の 反動減 ・2022年10月～2023年4月にかけて実施した スタジオ設備更新に伴う償却負担の軽減
四半期純利益	1,083 (12.8%)	1,135 (13.8%)	4.8%	51	【販管費】 ・コスト効率を意識した宣伝施策の実施

		2025年8月期 第3四半期累計		
		実績	前年同期比	増減額
売上高		8,481 (100.0%)	8,227 (100.0%)	△3.0%
	タイム収入	6,089 (71.8%)	6,060 (73.7%)	△0.5%
	スポット収入	1,758 (20.7%)	1,542 (18.7%)	△12.3%
	その他	633 (7.5%)	624 (7.6%)	△1.4%

主な増減要因(前年対比)

- タイム収入
競馬中継等の公営競技が好調に推移したほか、ショッピングも引き続き堅調となったが、前年同期の大型スポーツ番組等の反動減の影響が大きく、前年同期比△0.5%
- スポット収入
日中帯のドラマコンテンツの編成戦略強化により回復の兆しは見られるものの、前年同期比△12.3%
- その他
配信事業収入は好調も、前年好調だったアニメ製作委員会の出資配当収入の反動減により、前年同期比△1.4%

主要費用項目実績（個別）

(単位: 百万円、下段は売上比)

		2024年8月期 第3四半期累計	2025年8月期 第3四半期累計			
			実績	前年同期比	増減額	主要な増減要因
番組関連費用(原価)		2,770 (32.6%)	2,636 (32.0%)	△4.9%	△134	
	番組購入費	248 (2.9%)	281 (3.4%)	13.2%	32	日中帯を中心としたドラマコンテンツの編成戦略強化に伴う費用増
	番組制作費	2,521 (29.7%)	2,354 (28.6%)	△6.6%	△167	前年放送の番組にかかる費用の反動減
放送関連費用(原価)		412 (4.8%)	412 (5.0%)	0.0%	0	
	放送委託費	375 (4.4%)	365 (4.4%)	△2.7%	△10	
	技術費	36 (0.4%)	46 (0.6%)	28.1%	10	
広告関連費用(販管費)		590 (7.0%)	535 (6.5%)	△9.2%	△54	
	広告宣伝費	559 (6.6%)	504 (6.1%)	△9.7%	△54	コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施
	販売促進費	30 (0.4%)	30 (0.4%)	－%	－	

貸借対照表の概要（個別）

(単位:百万円、下段は構成比)

		2024年8月期末	2025年8月期第3四半期末		
			第3四半期	前年増減額	主な増減要因
	流動資産	16,553 (65.1%)	16,318 (63.5%)	△235	売掛金の減少 △260百万円
	固定資産	8,858 (34.9%)	9,365 (36.5%)	506	投資有価証券の増加 +796百万円 機械装置減価償却累計額の増加 △234百万円
	資産合計	25,412 (100.0%)	25,683 (100.0%)	271	
	流動負債	1,815 (7.1%)	1,486 (5.7%)	△347	未払法人税等の減少 △153百万円 未払消費税の減少 △138百万円 未払費用の減少 △45百万円
	固定負債	125 (0.5%)	127 (0.5%)	1	
	負債合計	1,941 (7.6%)	1,595 (6.2%)	△345	
純資産合計		23,471 (92.4%)	24,088 (93.8%)	617	繰越利益剰余金 +600百万円
負債・純資産合計		25,412 (100.0%)	25,683 (100.0%)	271	

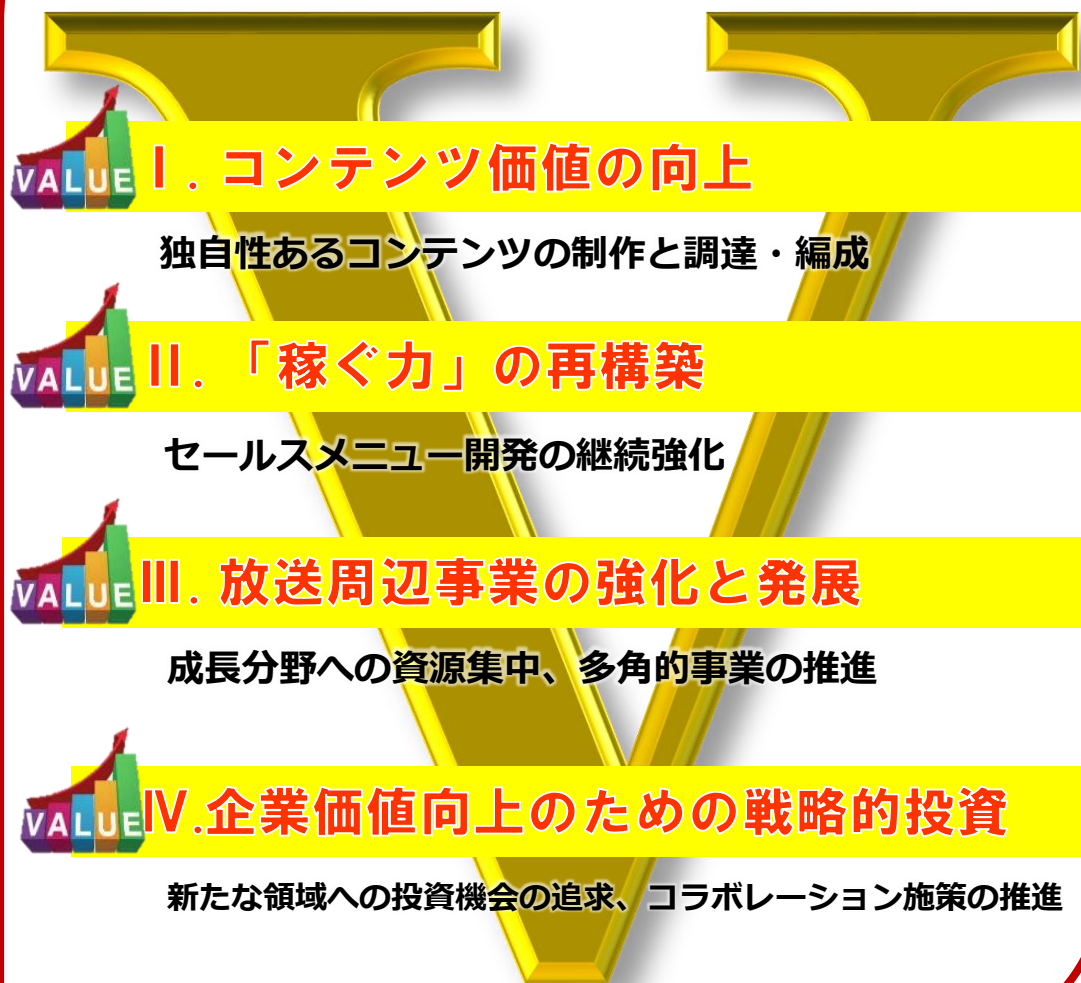
Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、
これら6つの「力」を強化・実践



「6つの力」を具現化する重点施策を
新たに「Value 4」と位置づけ推進





I. コンテンツ価値の向上

コンテンツの強化

NEW



教養

俳優の黒谷友香さんが理想のお庭を作る本格園芸番組。4月より新レギュラー番組として放送開始。

NEW



(C) HS Entertainment Group Incorporated

2025年に没後30年となるテレサ・テンの波乱万丈な生涯を、ストーリー制作に4年以上かけてドラマ化。当社での放送が日本初放送となる大型ドラマコンテンツ。

調達コンテンツの強化・拡充



©「今夜はコの字で」製作委員会2020



©泉放送制作/東海テレビ



©KBS Media All Rights Reserved.



©中国国際電視総公司



©Company A Chorion

このほかBS視聴者層に人気のある多様なジャンルの番組を放送中



音楽

笑福亭鶴瓶さんと八木亜希子さんがゲストを迎えて「歌」や「人生」について語り合い、ゲストが名曲を熱唱する、大人の歌謡&トーク番組。



歴史

偉人たちの歴史的失敗から人物像を浮き彫りにし、現代への教訓を探る歴史情報番組。



I. コンテンツ価値の向上

コンテンツ制作力の強化



グルメ・ドラマ

主人公目線のカメラだけでお届けする、まるでその場に居合わせているかのような、臨場感あふれる新感覚グルメドラマ。



エンタメ

昭和を彩った大スターたちの秘蔵映像の数々を一挙に公開。今年1月放送の第1弾の好評を受け、第2弾をお届け。



紀行

製作著作:KBS京都/BS11



紀行



音楽



スポーツコンテンツの拡充



サッカー

欧州最高峰のプレミアリーグ&ラ・リーガで活躍する日本人選手たちの最新情報を発信。放送終了後には、配信オリジナルコンテンツもお届け。



BS11ソフトボール中継 JDリーグ2025

ソフトボール

世界各国の代表選手が在籍し、女子ソフトボールの世界最高峰リーグとも称される「JDリーグ」の熱戦をお届け。



バスケットボール



当社初の取組みとして、女子バスケットボールリーグ「Wリーグ」を特集。シーズン最後に開催されるオールスターゲームの模様と、Wリーグの魅力をお届けする情報番組を放送。



III. 放送周辺事業の強化と発展 IV. 企業価値向上のための戦略的投資

「アニメのBS11」としての取り組み

～毎クール約40タイトルのアニメ関連番組をラインアップ～



5月 高知県にて開催のアニメイベント「高知アニクリ祭2025」にて、人気番組『Anison Days』のスペシャルライブステージを実施。



©VISUAL ARTS/Key/ 鳥白島観光協会

©ハンバーガー/KADOKAWA/にんころ製作委員会

©宮島礼吏・白泉社/「紫雲寺家の子供たち」製作委員会

©ひびめし製作委員会

配信事業拡大に向けた取り組み

★ 各プラットフォームにおける自社制作コンテンツやドラマの視聴が好調に推移

【主な配信プラットフォーム】



【主な配信コンテンツのジャンル】

エンタメ

音楽

スポーツ

ドラマ

報道

紀行・教養

映画

アニメ

etc.

★ 会員限定コンテンツ等を楽しめるBS11+プレミアムプランを開発

第1弾コンテンツとして人気声優によるトーク番組『ふたりば』の、限定ロケ映像などの配信を実施。



～第1弾コンテンツ『ふたりば』 プレミアムプラン 主な会員特典～

○配信映像リアルタイム視聴

○公開収録への参加抽選権

○オリジナルアフタートーク視聴

○番組オフショット画像

○配信映像アーカイブ視聴

○生配信のリアルタイム視聴 etc.



Ⅰ. コンテンツ価値の向上

スポーツコンテンツの拡充

BS男性視聴者層に人気のゴルフコンテンツの強化、当社 番組編成の特徴でもある「競馬」コンテンツの拡充も図る



ゴルフ

トッププロが集う国内屈指のトーナメントツアーの大会3日目・最終日の模様をお届け。



競馬

人気の「競馬」コンテンツでは、ダート競馬の魅力に迫る。6月には、ダート三冠競争の二冠目「東京ダービー」、7月には、上半期のダート頂上決戦「帝王賞」の模様を放送。



競馬



コンテンツ力の強化

BS視聴者層に人気のコンテンツジャンルを拡充



紀行

タレントのじゅんいちダビットソンさんが、ダム湖の魅力を味わい尽くす紀行番組。



エンタメ

俳優の井上咲楽さんが、全国各地の里山を訪れ、食の魅力あふれる里山の良さをお届け。



紀行

俳優の鶴見辰吾さんが、仙台の街を訪れ、美しい自然や歴史、料理や酒を堪能する紀行番組。



紀行

大阪・関西万博 関西パビリオンの和歌山ゾーンの見どころを皮切りに、和歌山の魅力を余すところなくお届け。

VALUE III. 放送周辺事業の強化と発展 IV. 企業価値向上のための戦略的投資

「アニメのBS11」としての取組み

イベント



今年、放送開始から10年を迎えるエンタメ総合情報番組『アニゲー☆イレブン!』の記念イベントを開催。イベント当日は、歴代MCたちが集合し、蔵出しトークや、ゲームコーナー等、充実した企画ラインアップを実施。

コンテンツのマルチユースの取組み

公開収録



番組放送後、YouTubeにて公開中の、番組アフタートーク『ちょっと話したりない』スペシャル版の公開収録を実施。



人気の配信オリジナルコンテンツ『ふたりば』の公開収録を、BS11+プレミアムプランの会員を対象に実施。

2025年7月クールも約40タイトルのアニメ関連番組をラインアップ



©福田晋一/SQUARE ENIX・アニメ「着せ恋」製作委員会



©2024 鴨志田一/KADOKAWA/青ブタProject



©江口夏実・講談社/出禁のモグラ製作委員会



©三香見サカ・講談社/「薫る花は凜と咲く」製作委員会

イベント



ゲストに声優アーティストの牧野由依さんを迎え、一夜限りの『Anison Days』スペシャルステージを開催。



今年も(株)京都放送、(株)元気な事務所と3社共同でトークイベントを開催。チケットは早々に完売。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

コンテンツ強化等によるコスト増を見込むため前期比減益

(単位: 百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,889 (100.0%)	△0.8%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	1,159 (19.7%)	25.0%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	1,174 (19.9%)	26.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属 する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	801 (13.6%)	24.9%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

売上高は11,600百万円(前期比2.1%増)、営業利益は2,000百万円(前期比2.8%減)、
当期純利益は1,406百万円を計画(前期比1.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,010 (72.5%)	0.0%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,109 (20.1%)	△4.7%	2,128 (18.4%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	413 (7.5%)	10.9%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	1,192 (21.6%)	29.6%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,208 (21.8%)	30.8%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	836 (15.1%)	31.0%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

2025年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。

	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期 (予想)
年間配当	19.0 円	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	93.19 円	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	78.97円
配当性向	20.4%	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	38.0%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2024年8月31日現在）
従業員数	132名（連結）（2024年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

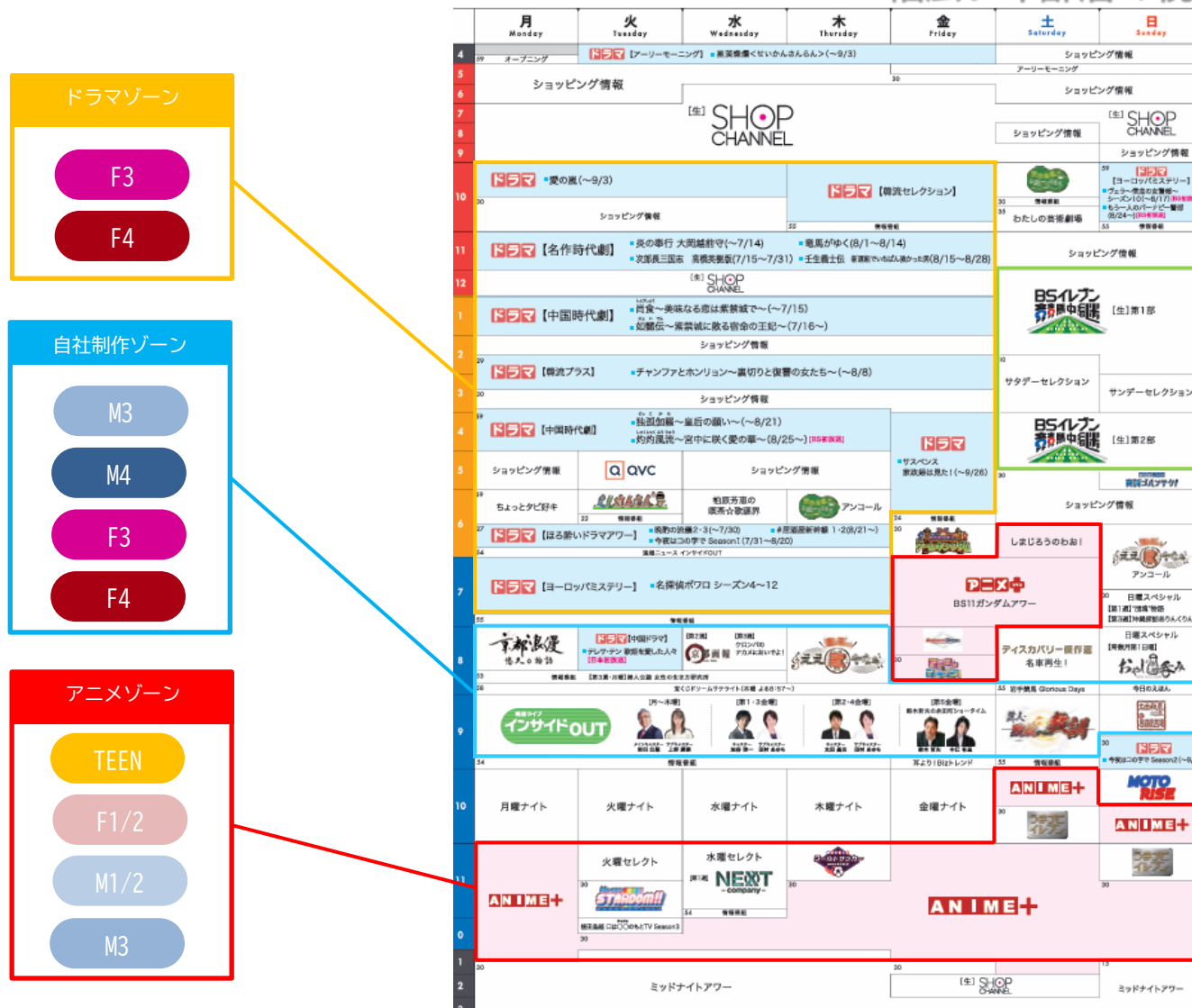
当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国無料BS放送局											
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	JCOM	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	JCOM:BS	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月		2025年7月	2022年3月	2011年11月
グループ	当社及び地上波系列BS5局の計6局は、“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。										

BS11の特徴

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインアップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画**が可能！

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する



ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

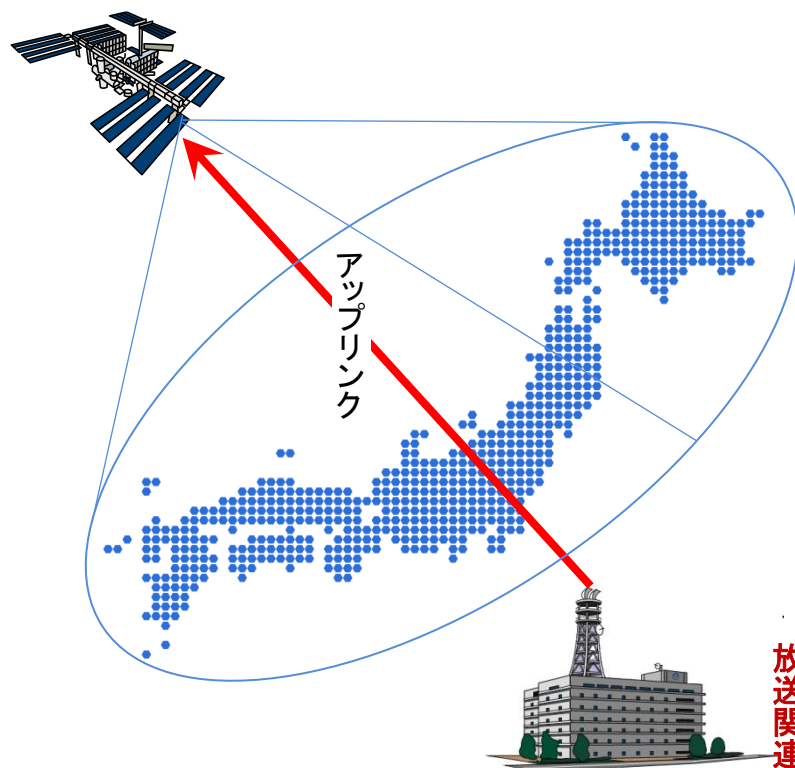
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

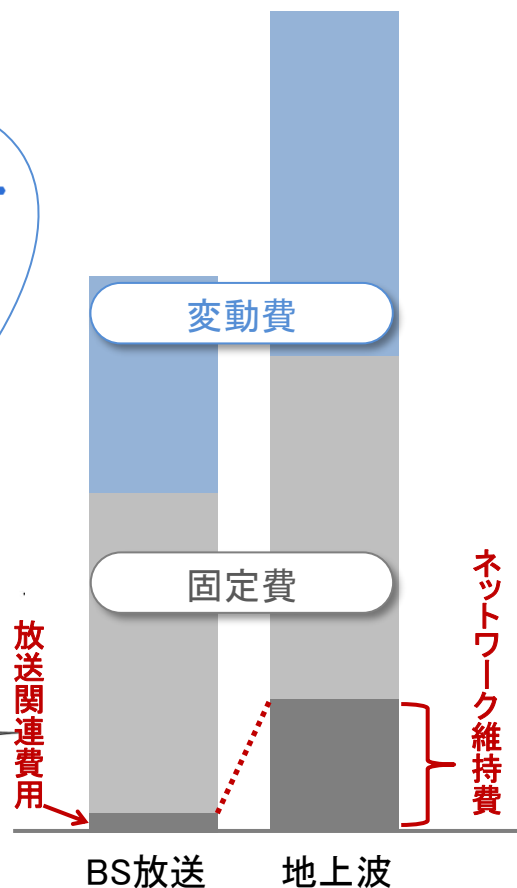
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

